

# なかじょう新発田 news

6月号 vol.82

リハデイなかじょう新発田ではご利用者様にもご協力して頂き、1年に2回消火・避難訓練を実施しております。出火の確認から消防への通報、初期消火対応、そして応援で駆け付けた職員と共にご利用者の皆様を安全な場所への避難誘導まで全員落ち着いて行動することができておりました。万が一、火災が起きてしまった時に慌てず、冷静に対応し職員全員がご利用者様を安全に避難誘導できるよう、引き続き訓練を積み重ねていきたいと思ひます。

全てのご利用者様、職員が正面玄関まで避難できたことを確認して、避難は終了です。

消火訓練ではご利用者様に水消火器を使用して頂き、的を狙って放水する練習をしました。



～デイサービス空き状況～

|    | 月                 | 火                 | 水                 | 木                 | 金                 |
|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 午前 | △                 | ○<br><u>男性が多い</u> | ○<br><u>女性が多い</u> | △<br><u>女性が多い</u> | △<br><u>女性が多い</u> |
| 午後 | ○<br><u>男性が多い</u> | △<br><u>女性が多い</u> | △                 | ○                 | △<br><u>男性が多い</u> |

○：空きあり

△：2～3人空きあり

見学・体験会は随時おこなっておりますのでお気軽にご連絡ください。  
リハデイなかじょう新発田 TEL.0254(24)1818

# Report

## ご利用者様の声 1様 92歳

課題 : 転倒せずに自宅内での移動をすることができる。

肩回りの動きがよくなり衣服の着脱を容易にすることができる。

留意点 : 目の見えにくさや動き始めに膝の痛みがあり足の上がりづらさが生じているため転倒に注意が必要。

個別訓練 : 下肢の筋力訓練、関節可動域訓練、ほぐし

眼の手術後の後遺症により視界が狭く、下を向いた状態で動作に移ることが多くなり、背中が丸くなってしまい肩の痛みや可動域の狭さ、歩き始めの膝の痛みがみられておりました。個別機能訓練を実施していき、背部周りの柔軟性が向上し肩関節の可動域が広がっており、衣服の着脱での痛みが徐々に緩和しております。膝の痛みも少なくなってきたおり、動き始めでの足上りの改善がみられております。

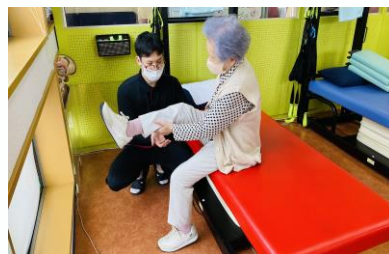
機能訓練指導員 井上遥平



- 膝の痛みが少なくなって歩きやすくなりました。
- 服を着るのが楽になってきました。



関節可動域訓練



セルフケアの提供

今後の  
目標

・長女と一緒に散歩に出ることができる。